

2005年(平成17年)8月17日(水曜日)

清流再生へ

利きアユ大会も

土佐市

香川郡いの町の仁淀川漁協は二十日午後一時半から、土佐市高岡町甲の寿苑でシンポジウム「仁淀川の森と水を考える」を開く。入場無料。全国屈指の水質を誇る仁淀川も近年は水質減、環境悪化などでアユの不漁が続いている。清流再生に取り組む同漁

20日 仁淀川シンポジウム

協が、流域自治体や漁業関係者らとの協力態勢を探ろうと企画した。

京都大フィールド科学教育研究センター長の田中克氏が「森と川と海をつなぐ学問」と題して基調講演。近年、研究が進む山、川、海の水系を総合的にとらえた環境保全の

協が、流域自治体や漁業関係者らとの協力態勢を探ろうと企画した。京都大フィールド科学教育研究センター長の田中克氏が「森と川と海をつなぐ学問」と題して基調講演。近年、研究が進む山、川、海の水系を総合的にとらえた環境保全の

作があるアウトドアライター、天野礼子氏をコーディネーターに、川の再生について提言する。また、懇親会(会費五千円)が午後五時半から開かれ、仁淀川流域五カ所のアユを集めて利きアユ大会も開く。問い合わせは同漁協(088・8993・2300)。

仁淀川